

職員の皆さんへ（「市長訓示」月連載最終回のお知らせ）

平成 30 年のスタートから早くも一ヶ月が経過しました。

年初めとは打って変わってこのところ寒い日が続いており、インフルエンザも猛威を振るっているようです。2年前の大寒波と積雪による水道管破裂などの被害にまでは至らないとは思いますが、気を引き締めて警戒にあたっただきたいと思ひますし、それぞれに健康には留意して、「うがい・手洗い」など防寒対策を心がけていただきたいと思ひます。

さてこの「市長訓示」シリーズも私が市長就任以来、毎月途絶えることなく連載してきましたが、丁度今回で 100 回を重ねたこともあって、これを区切りに筆を置こうと思ひます。

そもそもなぜこのような形で毎月私の考え方を文章にして市役所グループウェア上に掲載し、皆さんに精読してもらったことになったかという、就任直後、初めて市長の立場で職員の若手世代の方々に意見をお聞きした際、「新しい市長がどのような考えか知りたい」「常に市長と職員の思ひを共有する機会が欲しい」「毎月の初めに職員を一堂に集めて訓示をしてほしい」などの提案が寄せられたことがきっかけでした。

それからすでに 8 年が経過し、この市長訓示を含めあらゆる場面において私は自らの考えを表明しながら皆さんとともに各種事業に取り組んでまいりました。その間、いろいろな課題にぶつかり、またそれらの解決に汗を流しながら、結果的に多くの市民の皆様からも一定の評価を受けながら今日の平戸市の姿に到達できております。

決して現状に甘んじているのではありませんが、毎月の「市長訓示」という形で私の考えを披露するという手法については、もはや一定の役割を終えたのかなという感じがいたします。これまで長い間、忙しい中にもかかわらず目を通してくださりありがとうございました。

そこで今後については、その時々感じたことや思ひを描いたこと、また職員の皆さんに改めて伝えたいことなどが文章としてまとまった際に、不定期で掲載する形として、例えば「市長の徒然草」もしくは「市長の思ひあれこれ」とかの標題で、情報や体験などを共有していきたいと考えています。よろしくお願ひします。

これからも引き続き市民の将来と平戸市の発展のために頑張っただけまいりましょ。う。

平成 30 年 2 月 1 日

平戸市長 黒田 成彦